株式会社日本格付研究所
Japan Credit Rating Agency,Ltd.

26-D-0925
2026 年 11 月 5 日

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

ケネディクス・プライベート投資法人（証券コード：－）

【据置】

長期発行体格付	ＡＡ－
格付の見通し	安定的

■格付事由

(1) 14 年 3 月に運用を開始した総合型の非上場オープン・エンド型投資法人。東京圏のオフィスビルを中心に住宅、物流施設、商業施設などに分散投資を行う。資産運用会社のケネディクス不動産投資顧問は、本投資法人のほか、資産規模約 1.2 兆円に上る KDX 不動産投資法人の投資運用を行っており、それらを通じて培ったノウハウやネットワークによる相乗効果が期待される。また、スポンサーであるケネディクスやケネディクスの親会社である三井住友ファイナンス＆リースグループ（SMFL グループ）からの幅広いスポンサーサポートを活用して、長期的かつ持続的成長を目指している。

(2) 現在の資産規模は 42 物件、取得価格総額 2,024 億円。直近では 2 期連続の増資を実施し、運用開始から 12 年で資産規模 2,000 億円を達成しており、物件・テナント分散が一層進展している。東京圏のオフィスビルを中心に多様な用途の不動産への投資を通じて、ポートフォリオの安定性と持続的な成長を図っている。JCR では、ポートフォリオ（物件数、規模、分散状況等）、物件運営に係る比較的安定したトラックレコード、スポンサーが有する幅広いノウハウとネットワークが本投資法人の外部成長や内部成長において活用されている点、安定したレバレッジコントロール等を踏まえ、格付を据え置き、見通しを安定的とした。

(3) ポートフォリオ全体の稼働率は、98%前後の高水準で推移している。主たる投資対象であるオフィスビルは、都内を中心に需要が高まっており、賃料は上昇トレンドを継続。本投資法人も機を逃さず、テナント入替・更新いずれも増額にて推移している。物流・商業施設等の安定収益アセットにおいても、契約更新時の増額交渉や契約形態の工夫により、更なる内部成長を追求している。

(4) 総資産ベースの LTV は、継続的な資産規模拡大の一方で概ね 40%台半ばの水準で安定的にコントロールされている。資金調達面では、長期・固定金利を中心とした借入条件や返済期日の分散化によって金利上昇リスクに配慮した財務運営を継続している。なお、本投資法人では各期の払戻対象口数を原則として発行済投資口数の一定割合に制限することで、LTV が大幅に上昇するリスクを抑制している。また、比較的流動性の高いアセットを保有しており、投資口の払戻請求時において機動的な対応が可能と見込まれる。

（担当）秋山　高範・鈴木　愛

■格付対象

発行体：ケネディクス・プライベート投資法人

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA-	安定的

Copyright © Japan Credit Rating Agency, Ltd. All Rights Reserved.

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. **信用格付を付与した年月日**：2026 年 10 月 30 日
2. **信用格付の付与について代表して責任を有する者**：秋山　高範
   主任格付アナリスト：秋山　高範
3. **評価の前提・等級基準**：
   評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ（https://www.jcr.co.jp/）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014 年 1 月 6 日）として掲載している。
4. **信用格付の付与にかかる方法の概要**：
   本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ（https://www.jcr.co.jp/）の「格付関連情報」に、「J-REIT」（2017 年 7 月 3 日）として掲載している。
5. **格付関係者**：
   （発行体・債務者等）　　ケネディクス・プライベート投資法人
6. **本件信用格付の前提・意義・限界**：
   本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
   本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
   本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. **本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者**：
   ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
   ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. **利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要**：
   JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. **格付関係者による関与**：
   本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. **JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置**：なし

■**留意事項**
本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等をすることは禁じられています。

■**NRSRO 登録状況**
JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ（https://www.jcr.co.jp/en/）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■**本件に関するお問い合わせ先**
情報サービス部　　TEL：03-3544-7013　FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所
Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者　金融庁長官（格付）第 1 号
〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8　時事通信ビル

Copyright © Japan Credit Rating Agency, Ltd. All Rights Reserved.